

地下水保全顕彰制度最優秀グランプリ企業紹介



第2回 最優秀グランプリ

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社

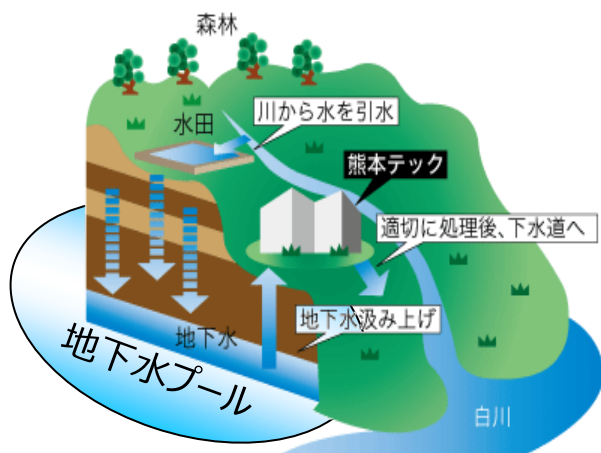
熊本テクノロジーセンター



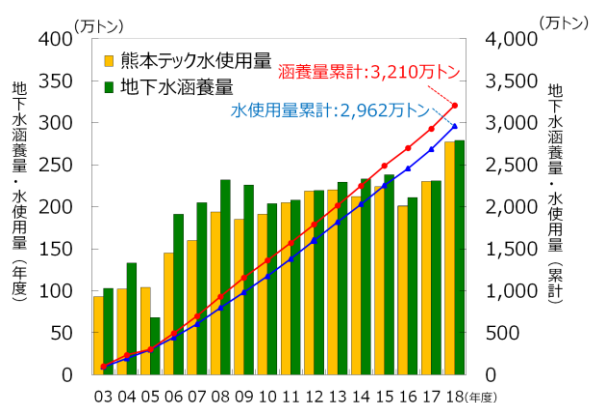
当社は、九州（熊本・長崎・大分・鹿児島）や東北地方（山形・宮城）にテクノロジーセンター（以下「テック」という。）と呼ぶ開発・量産拠点を有し、イメージセンサーをはじめ、さまざまな半導体製品を製造しています。なかでも菊池郡菊陽町にある熊本テックでは、約3,000名の従業員が、デジタルカメラや監視・車載用カメラなどに搭載されるイメージセンサーやディスプレイデバイスといった製品の開発・生産に取り組んでいます。

半導体の製造工程では、製品不良につながるダスト（ゴミや不純物）を除去するため、地下水などから精製した「超純水」と呼ばれる大量の水を使用します。そこで熊本テックでは「使った水はきちんと返そう」をスローガンに2003年度から地下水涵養事業をスタートしました。これは2002年6月に弊社で開催したソニー半導体グループ環境サミットで、NPO法人環境ネットワークくまもと（現「くまもと未来ネット」）様からご提案をいただいたことがきっかけとなったものです。その結果、日照りが続いた2005年を除き毎年、工場で使用した水の量を上回る地下水を涵養し続けています。また涵養田での田植えや稲刈りには、社員とその家族が積極的に参加し、農業と地下水を守ることの大切さを学んでいます。

私たちは今後も地元の皆さまと一緒に熊本の大切な水資源を守りながら、持続可能な社会の実現をめざしていきます。



水田を利用した地下水涵養の取り組み



地下水涵養量と
熊本テックで使用した水の量